

富山大空襲81年平和祈念事業

富山大空襲展

～高岡巡回展～

2026 **7.30** (木) → **8.5** (水) 10:00-19:00
※最終日は16時終了

高岡市生涯学習センター 1階交流スペース
(ウイング・ウイング高岡) 高岡市末広町1-7 TEL. 0766-20-1801 【入場無料】



写真・被災者が描いた絵画(絵：若林ウタ)

真っ赤な空の下で何が？

被災者が絵で語る

2

Chapter



あの日、富山が燃えた。

富山大空襲の記録と証言

1

Chapter



写真・前回開催した展示の様子

平和を生きる私たちへ。 記憶を受け継ぎ、未来へ

3

Chapter

特別企画

◎富山大空襲を描いた絵本の朗読会 8/1(土) 13:30～

『あの日とコスモスとぼくと』朗読・川原佐知子 『ほむら色の空』朗読・大田淑美

◎「被災者 稲垣よし子の証言」 8/2(日) 13:30～

主催／「富山大空襲展」高岡巡回展実行委員会 共催／高岡市、富山大空襲を語り継ぐ会

後援／富山県、富山県教育委員会、高岡市教育委員会、高岡商工会議所、北日本新聞社、高岡ケーブルネットワーク(株)

協力／NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち

www.toyamadaikushu.com



富山大空襲展

～高岡巡回展～

2025年11月20日から24日まで、新川文化ホールで開催した「富山大空襲展～新川巡回展～」には、1,500名を超える方々にご来場いただきました。以下は、その際にご記入いただいたアンケートから抜粋した感想文です。

【19歳以下】

- ◎授業では習う事のできない貴重なお話や資料を見て、絶対にもう戦争はしたらいけないと思ったし、戦争の事を知って、多くの人たちに戦争のおそろしさを知ってもらいたいと思いました。
- ◎富山大空襲の悲惨さや他都市部と比べても爆撃のひどさが分かりました。学校で歴史を学んでも自分たちの住んでいる地域で起こったことは、ここまで詳しくは学べないのでいい機会でした。

【20代～30代】

- ◎富山大空襲のことをもっと早く知りたかった。学校では広島や東京の事ばかり、自分たちの住んでいる場所の事をもっと知るべきだと思った。
- ◎今日の展示を見て改めて今の子供たちに伝えなければいけない事は何か、二度と戦争の道へ進まないように自分で考え、行動できる大切さを考えることができました。
- ◎「戦争をしない、させない、自由を守る」。この展示を見て思ったことです。自由に言論ができるようになった今や歴史に感謝し、戦争にはNO！と言える勇気をもちたいし、そうした人たちと未来を作りたい。
- ◎「富山大空襲展」常設の場が絶対必要だと思います！
- ◎パネルの写真やマンガ調のコメントがとても分かりやすかった。時系列順なのも、とてもよかった。富山の空襲は規模が大きいのに、なぜ富山には戦線の資料館が神社にしかないのか？子供たちにも空襲があったことを伝えていくべきなので、ぜひ、小さくても良いので、常設展示館をお願いします。
- ◎小学校で教員をしています。富山大空襲について子供たちに伝えつづけていきたいと思っています。

【40代～50代】

- ◎政治家やトップが間違った愛国心で罪もない人たちが犠牲になったのは可哀そうだと思う。若い人たちが次の世代に伝えていかなきゃダメなのは、その時の教育じゃないかと思う。
- ◎たった80年前に起こっていた事実を少なくとも富山県民は皆、認識して生きていくべき。
- ◎実際に起こった事であり、自分と同じような人々が犠牲となっていること。その一人一人に生活があり、感情があったこと。数字だけでは見えづらい部分に思いを馳せることができました。
- ◎親子で拝見しましたが、ほとんど無言でした。心が痛く、重く、何と表現してよいかわかりません。落ち着いたら、子供と今回の展示について話し合い、今後、自分たちに何ができるかを、一緒に考えていきたい。

【60代～70代】

- ◎自宅は富山市中田で、目の前の八幡社に模擬爆弾が落ちたことを義母からよく聞いてました。戦争に至る日本の歩みを誰も止められなかったように、一度踏み出すと後戻りできません。絶対に戦いを始めてははいけないと強く思います。とても詳しく大空襲を学ぶことができました。
- ◎大変貴重な資料を拝見いたしました。その悲惨さを改めて痛感いたしました。感謝しかございません。若年層の方々へもっと伝えていかなければなりませんね。

【80代以上】

- ◎富山の知人はいたち川へ飛び込んだ事。母親がこの子だけでもとお願いして、川に広げた布団の中へ押しこんだ事。また他の知人は、母のお腹の中に入れて自分だけ助かった事など。私の父は戦死です。近年、世の中は危機感が薄れ、戦争に向かっているように思いますが、とりこし苦勞でありますように。
- ◎写真・絵・言葉で、富山大空襲の説明があり、驚くほど悲惨だったことを改めて知らされた。これは、今後とも日本国民に教え続けなければいけないと思います。

